

一宮町長  
馬淵 昌也

このたび一宮町は、国連が実施している「Clean Seas（海をきれいに）」キャンペーンに、一〇〇チームの一員として参加することとなりました。これは、最近フローズアップされている、プラスチックによる海の汚染という重大な問題を踏まえて始められたものです。この運動には、一〇〇（国際オリンピック委員会）が、賛同者として参加しており、自らのチームメンバーとして、スポーツの国際組織やコカコーラなどのスポンサー企業を従えています。その一〇〇チームに、一宮町が、日本の団体としてははじめて加わることになったのです。

このお話は、一〇〇の委員の一人、スイスのミシェル・ルメートルさんから、直接わたくしに勧めていただいたものです。さる5月のこと、2020東京オリンピックの千葉原会場の準備について、一〇〇の委員の皆さんにご報告する会合が東京で開かれました。その折、わたくしは、一宮町の釣ヶ崎は日本最古の神話にちなむ場所であり、初代神武天皇の母上の玉依姫命が上陸した場所であること、そこで今回、

世界で始めてのオリンピックのサーフィン競技が行われることなどをお話しました。わたくしが差し上げたお話には、コース調整委員長以下皆様が格別の関心を示してくださりましたが、特に上記のルメートルさんは、一宮町でのビーチクリーン活動に関する報告を評価してくださり、「Clean Seas」の仲間に入りませんか、と勧めて下さったのです。

このときは、皆様とお話ししながら、わたくしは、英語を話せてよかったです！と思いました。英語を話せなかつたら、こういうお誘いも頂けなかつたでしょう。そのあと、一〇〇の事務の方と協議を重ね、ついに正式なメンバーとして認められるに至ったものです。

実際に何を行うかという点、従来からの海岸や河口の清掃がベースになります。そこに、一〇〇からご推薦いただいた、ご家庭へのエコバッグの配布や、学校でのプラスチックごみに関する講義などを加えてゆく予定です。皆様には、今までも増して、海をきれいにするための活動にご協力をお願い致します。